

日本社会保障法学会会報 第28号

発行日：2010.4.1 発行人：木下秀雄 編集人：秋元美世 発行：日本社会保障法学会
本部事務局住所：〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 東洋大学社会学部秋元研究室気付
Tel：03-3945-7532 Fax：03-3945-7626 E-mail：sslaw@toyonet.toyo.ac.jp
URL：http://www.soc.nii.ac.jp/jassl/ 会員数：601名（2010年4月1日現在）

第57回春季大会開催案内 事務局長 秋元美世（東洋大学）

日本社会保障法学会第57回春季大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

- ・日 時：2010年5月15日（土） 9：30～17：00
- ・会 場：名古屋大学・東山キャンパス IB 電子情報館（〒464-8601 名古屋市千種区不老町）
大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾の地図をご参照ください。
総会・シンポジウム会場： IB 電子情報館 2階大会議室
- ・お問い合わせ先 Tel：052-789-2337
- ・大会次第（予定：内容等の詳細につきましてはレジュメ集をご覧ください。）

受付開始・・ 9:00
開会・・ 9:30

個別報告

- 吉永純会員（花園大学）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9:30～10:30
「生活保護審査請求制度の現状と課題」
司会：木下秀雄（大阪市立大学）

共通テーマ・シンポジウム

- 「近親者からの虐待・暴力に対する法制度の課題—各国比較をふまえて—」
司会：神尾真知子（日本大学）
増田幸弘（日本女子大学）
- 古橋エツ子（名古屋経営短期大学）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10:40～10:50
「シンポジウムの趣旨—テーマの趣旨と構成—」
- 金川めぐみ（和歌山大学）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10:50～11:10
「虐待・暴力に関する国際基準からの考察」
- 廣瀬真理子（東海大学）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11:10～11:50
「近親者からの虐待・暴力の定義と位置づけ」

総会・開催校あいさつ 11:50～12:30

休憩（昼食） 12:30～13:30

共通テーマ・シンポジウム（続き）

○高田清恵（琉球大学） 13:30～14:10
「近親者からの虐待・暴力の早期発見と一時保護」

○片桐由喜（小樽商科大学） 14:10～14:50
「近親者からの虐待・暴力における保護と支援」

○本澤巳代子（筑波大学） 14:50～15:20
「虐待・暴力法制の各国比較からみえた課題」

休憩 15:20～15:40

○シンポジウム 15:40～17:00

大会終了 17:00（予定）

※同封の大会出欠確認はがきに必要な事項を記載の上、**2010年5月5日（水）**までにご返送いただきますようお願いいたします。

※昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「昼食」の「要」に○をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付にて昼食券を購入してください。代金は1,000円です。

※懇親会の参加を希望される方は、大会出欠確認はがきの「3. 懇親会」の「出席」に○をつけてください。懇親会の参加を希望された方は、大会当日、受付にて懇親会券を購入してください。代金は7,000円です。懇親会の会場は、同キャンパス内の食堂を予定しています。

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 品田充儀（神戸学院大学）

第57回春季大会は、2010年5月15日（土）に名古屋大学で開催されます。シンポジウムのテーマは、「近親者からの虐待・暴力に対する法制度の課題」であります。古橋エツ子理事・本澤巳代子理事を担当事者として、報告者グループ（古橋エツ子会員、金川めぐみ会員、廣瀬真理子会員、高田清恵会員、片桐由喜会員、本澤巳代子会員）による最終的な詰めの作業が行われています。今回の個別報告は、吉永純会員による「生活保護審査請求制度の現状と課題」の1件だけではありますが、膨大な量の審査請求事件を涉猟し、分析するという意欲的な報告でありますので、期待してください。

第58回秋季大会は、2010年10月16日（土）に東京経済大学で開催される予定です。加藤智章理事、西田和弘理事を中心としたメンバーにより、「医療制度改革の到達点と今後の課題（仮題）」というテーマで報告をしていただくことになっています。報告者は、現段階では、加藤智章会員、稲森公嘉会員、

国京則幸会員、石田道彦会員、原田啓一郎会員の5名が予定されています。全員が医療保険問題のプロフェッショナルといえる精鋭ぞろいであり、混沌とする医療保険制度の現状に対して、様々な角度から切り込んでいただけるものと期待されます。なお、現状では、個別報告者の申し出はありませんので、ご自身もしくは心当たりがある方は、是非ご連絡を頂戴したいと思います。

第59回春季大会（沖縄開催が有力）は、「地方分権と社会保障の将来像（仮題）」というテーマで、石橋敏郎会員、新田秀樹会員を中心とした報告者グループによる研究が進行しています。さらに第60回秋季大会（開催地未定）は、「職業生活の中断と社会保障（仮題）」というテーマが決まっており、すでに中野育男会員、水島郁子会員を中心とした報告者グループが立ち上がり、研究の構想が練られています。時代の変化が激しく、研究途上で諸条件に変容が生じてしまうといったことも起こりがちであり、シンポジウムテーマをあまりに早く決めてしまうことには問題もあるのですが、一方で社会保障をめぐる法的問題は複雑化しているという状況もあり、結局、研究期間には余裕を持ってもらったほうが良いと判断しています。会員の皆様には、こうした状況について、ご理解を頂戴したいと思います。なお、報告にあたっておられる方は大変であろうかと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

（若手会員の文献リストに関するお詫びと今後の方法）

企画委員会では、今後の企画立案に役立てるとともに、若手会員（40歳未満もしくは大学院入学後10年未満の会員）の業績を広く紹介するため、文献リストを作成し会報に掲載しておりました。前回の会報においても、文献を集約してお知らせしたところではありますが、一部の文献表示（尾澤恵会員分）に間違いがあり、ご迷惑をおかけしてしまいました。当方の確認ミスであり、誠に申し訳ございませんでした。このほか、年齢の確認が困難なこともあり、やや基準と異なる文献も掲載されているとの指摘もありましたので、今後は企画委員会で前年度分を3月に集約した後に、学会のホームページに掲載することとさせていただくこととしました。従来どおり、企画委員会の情報収集能力に限界があるため、上記要件に該当する論文・著書の現物またはコピーを、下記宛にお送りいただければ嬉しく思います。なお、お送りいただいた論文・著書は返却いたしませんのでご了承ください。

〒653-0862 神戸市長田区西山町2-3-3
神戸学院大学実務法学研究科 品田充儀 宛

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 品田充儀（神戸学院大学）

学会誌投稿論文（社会保障法第26号に掲載予定）を募集しています。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。募集要領は、下記の通りです。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、学会誌編集委員会で決定します。
- 4 採用にあたっては、より一層内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。

- 5 原稿の分量は、原則として、14,000字（200字詰め原稿用紙70枚）以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求してください。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避けください。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いずに、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用してください。
- 7 英文タイトルおよび英文要約（200語以内）を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、コピーを含め3部提出して下さい。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 締め切りは、2010年9月30日（必着）とします。
- 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付下さい。
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 東洋大学社会学部秋元研究室気付
日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

以上

学会奨励賞候補作品の募集について 企画委員長 品田充儀（神戸学院大学）

2010年度（第6回）学会奨励賞候補作品の推薦（自薦を含む）を下記要領で募ります。
なお、推薦された候補作品は審査委員会で審査の上、受賞者は秋の総会で表彰いたします。

記

- 1 対象作品：2009年（1月から12月）に公刊された著書および論文
- 2 著者・筆者の年齢：当該著書・論文公刊時に40歳未満の会員
- 3 受賞者数：原則として1名
- 4 締め切り：2010年5月31日
- 5 推薦の通知先：〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20
東洋大学社会学部秋元研究室気付 日本社会保障法学会事務局宛

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 加藤智章（北海道大学）

学会誌25号につきまして、会員皆様のご協力により、現在、公刊に向け鋭意努力中です。
また、従来8月末日としていた投稿論文の締め切りを26号から9月30日とすることにいたしました。
会員の皆様、ふるってご投稿下さい。
57回春季大会では、学会当日の昼食休憩時間を利用して、編集委員会を開催する予定です。編集委員会の委員におかれましては、具体的な日時等についてメールでお知らせいたしますので、ご承知おき下さい。

新講座編集委員会からの報告 総括編集委員 木下秀雄 (大阪市立大学)

新講座刊行につきましては、刊行準備委員会（委員長 良永彌太郎会員）として会報27号（2009年9月）で報告を行ってきました。その後第4回新講座刊行準備委員会（10月16日（金）、明治学院大学）、第5回新講座刊行準備委員会（2009年12月12日（土）、京都大学）において編集委員会体制と刊行スケジュールなどについて議論し、2009年12月12日に理事会で承認されました。編集委員会体制は次のとおりです。各巻の編集委員は、第1巻：西村健一郎会員、岩村正彦会員、新田秀樹会員、第2巻：河野正輝会員、本澤巳代子会員、大曾根寛会員、第3巻：井上英夫会員、菊池馨実会員、林弘子会員。また総括編集委員として木下秀雄会員、総括編集委員会事務局として石橋敏郎会員が当たることになりました（なお、総括編集委員会には、事務局長、企画委員長、編集委員長も参加することになっています）。全体のスケジュールは、2010年7月には各巻の構成と執筆者を確定し、8月には執筆依頼し、2012年5月から6月にかけて一斉刊行をめざします（発行時期については、前回会報の準備委員会報告より早めることになりました）。

今後は新講座編集委員会が各巻の構成の確定や執筆者の選定を行っていくことになります。

こうした体制を決めた後、昨年末から2010年2月にかけて各巻編集委員の会議が開かれ、これを踏まえて、第1回全体編集委員会（2010年3月7日（日）、龍谷大学セミナーハウス）を開催し、刊行趣旨および各巻内容・構成等について協議しました。次回は、第1回総括編集委員会（2010年5月16日（日）、名古屋大学）で、各巻の調整、執筆候補者選定等の作業を行います。5月の学会総会ではこれまでの経過報告をするとともに、会員各位の議論を行っていただきたいと思っております。そうした議論を踏まえてさらに各巻ごとの編集委員会と総括編集委員会を開いて最終的に内容を確定する予定です。総会での忌憚のないご意見、ご議論をお願い申し上げます。

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

○2009年度10月定例理事会

- ・日時：2009年10月16日（金）16：00～17：40
- ・場所：明治学院大学 白金キャンパス 本館 92 会議室
- ・議事内容
 - ①第56回秋季大会について（略）
 - ②第57回春季大会の運営について（略）
 - ③第58回秋季大会以降の運営について（略）
 - ④学会誌投稿論文について（略）
 - ⑤奨励賞について（略）
 - ⑥学会誌編集委員会より
加藤学会誌編集委員長より、学会誌第25号の構成案等の報告があった。
 - ⑦国際交流委員会より
林国際交流委員長より、英文ホームページについての報告があった。
 - ⑧日本学術会議関連の動きについて（略）
 - ⑨新「学会講座」について
良永新講座刊行準備委員会委員長より、進行状況についての報告があった。
 - ⑩入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会者紹介」をご覧ください）

○2009年度12月定例理事会

- ・日時：2009年12月12日（土）16：00～17：45
- ・場所：京都大学 人間・環境学研究科棟 233号室
- ・議事内容
 - ①第57回春季大会の運営について（略）
 - ②第58回秋季大会の運営について（略）
 - ③第59回春季大会以降の運営について（略）
 - ④学会誌投稿論文について（略）
 - ⑤奨励賞について（略）
 - ⑥学会誌編集委員会より
加藤学会誌編集委員長より、学会誌第25号についての報告があった。
 - ⑦日本学術会議関連の動きについて
連携会員である井上理事より、最近の日本学術会議の動向についての報告があった。
 - ⑧新「学会講座」について
上記の「新講座編集委員会からの報告」を参照下さい。
 - ⑨入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会者紹介」をご覧ください）

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○社会保障法学会名簿作成について

本年度は、社会保障法学会の名簿作成の年にあたります。住所・所属等変更のある場合は、必ずご連絡下さい。また、名簿に記載する内容について意向確認をしております。同封の別紙をご覧くださいの上で、ご協力の程よろしくお願い致します。

○長期滞納者の退会処理について

2006年6月の理事会において、次のことが決定されました。学会規約第7条「会員は、総会の定めるところにより、会費を納めなければならない。会費を滞納したものは、理事会において、退会したものとみなすことができる」との規定に基づき、3年度分以上滞納した会員については、理事会での議論を踏まえて、会費納入の督促を行い、それでも会費の納入がない場合には退会者とみなすこととなりました。会員各位のご了解とご協力を宜しくお願いいたします。

○英文パンフレットについて

英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

第58回秋季大会は、2010年10月16日（土）東京経済大学にて開催される予定です。

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは委託事務局に、13号以降は法律文化社営業部（Tel：075-7702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

○事務局の業務体制について

2009年度より、事務局業務の一部（住所変更、会費納入確認）を大学生協学会支援センターに委託しました。それぞれ連絡先は以下のとおりです。住所変更や会費の納入状況については、委託事務局（大学生協学会支援センター）の方へご連絡下さい。

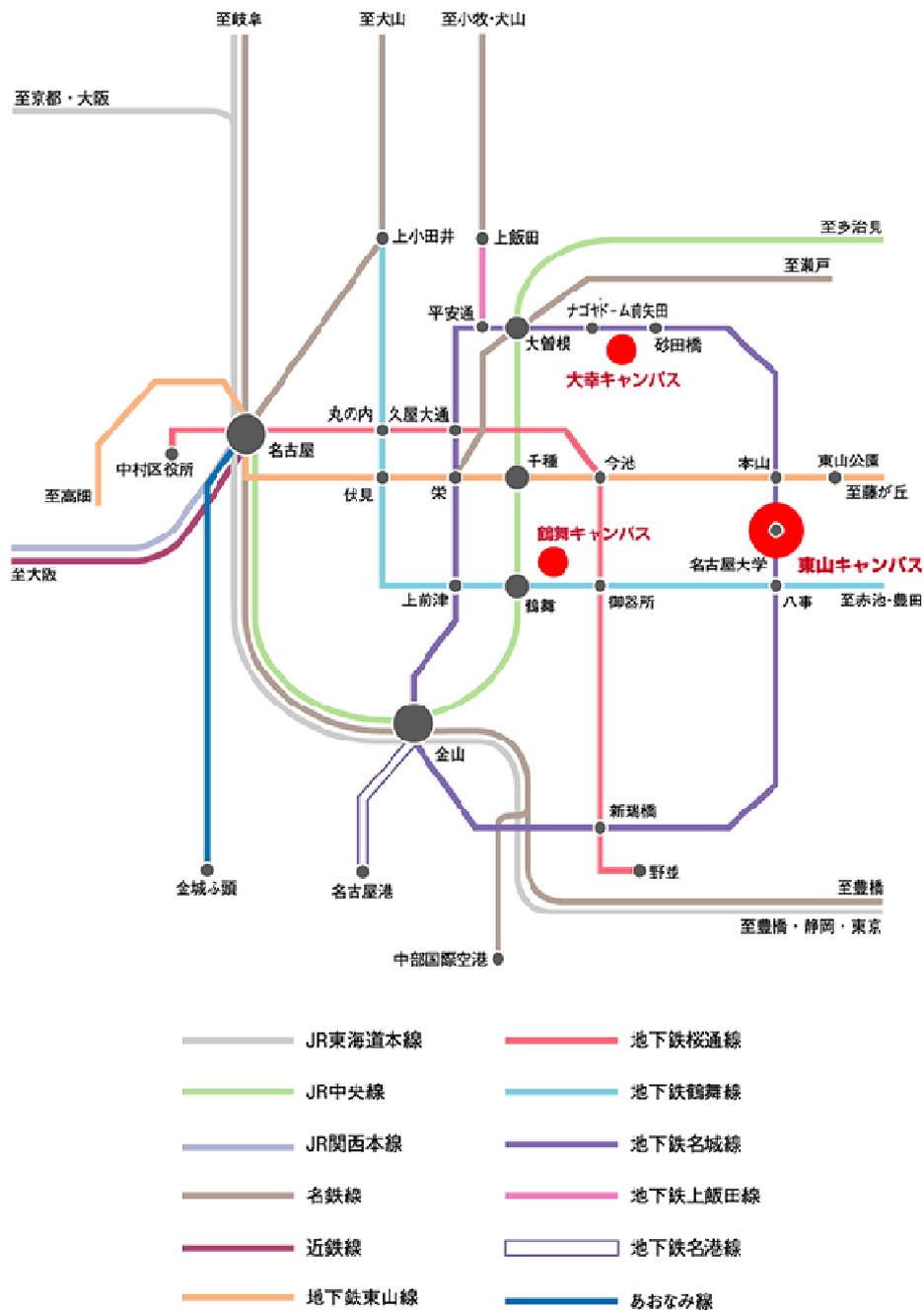
（本部事務局）〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学社会学部秋元研究室気付
E-mail : sslaw@toyonet.toyo.ac.jp Tel : 03-3945-7532 Fax : 03-3945-7626
※本部事務局への連絡については、できるだけEメールでお願いいたします。

（委託事務局）〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協学会支援センター内
E-mail : sslaw@univcoop.or.jp Tel : 03-5307-1175 Fax : 03-5307-1196
※住所等変更や会費納入状況についての問い合わせは「委託事務局」へお願いします。

入退会者紹介 日本社会保障法学会事務局

- ・2009年10月16日（金）、12月12日（土）の定例理事会で、次の方々の入会が承認されました。
（順不同、敬称略）
樋永 信宏（龍谷大学大学院）、川上 由希子（司法研修所）、貫場 恵子（貫場恵子社会保険労務士事務所）、藤木 清次（経営研究所代表）、坂井 岳夫（同志社大学大学院）、島村 暁代（東京大学）、久保 洋子（社会保険労務士）
- ・2009年10月16日（金）の定例理事会以降、2010年3月までの退会者は次のとおりです。
（順不同、敬称略）
植田 美佐恵、河越 重任、正田 彬、園田 英器、千々岩 力、蔦川 忠久、中村 律子、古瀬 徹、松本 克美、水野 勝、宮崎 定美

名古屋大学東山キャンパス アクセス



鉄道

- ・地下鉄名城線名古屋大学駅下車すぐ
- ・JR 名古屋駅・名鉄新名古屋駅・近鉄名古屋駅からの場合…地下鉄東山線藤が丘行きに乗車し、本山駅で地下鉄名城線右回りに乗り換え、名古屋大学駅下車。所要時間約 30 分(乗換含)
- ・JR 金山駅・名鉄金山駅からの場合…地下鉄名城線左回りに乗車し、名古屋大学駅下車。所要時間約 25 分

航空機

- ・中部国際空港を利用
- ・空港から名鉄特急に乗車し、名古屋駅または金山駅で下車、その後地下鉄に乗り換え(上記参照) 又は、空港バスにて栄または名古屋駅に出て、地下鉄に乗り換え。

名古屋大学東山キャンパス内

